

初任者研修アンケート

研修科目：初任者研修 「医療制度改革の変遷とMSW業務」

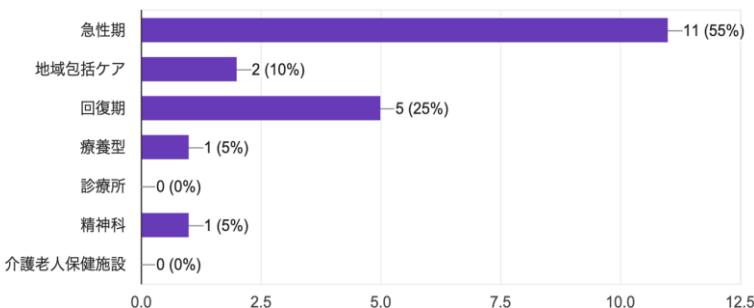
講師名：樋口美智子 氏

研修日：2025年7月13日（日）

受講者数：24名 アンケート回答者 20名

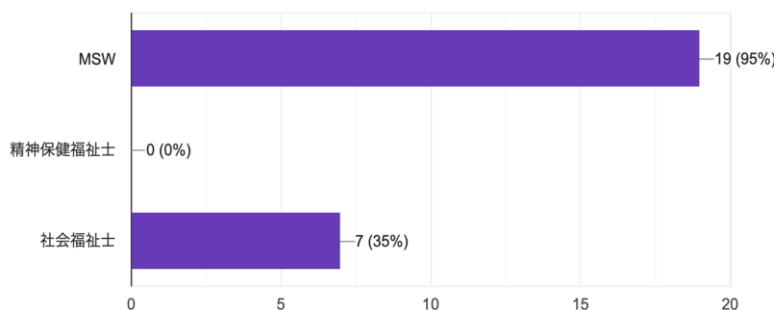
1. 所属機関は何处ですか。該当するものにチェックをしてください。

20件の回答



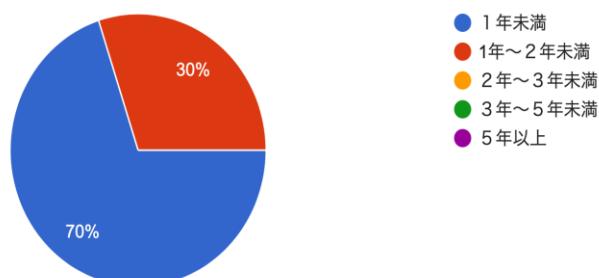
2. 職種は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

20件の回答



3. 経験年数は何年ですか。あてはまるものを選んでください。

20件の回答



4. 本講義で学んだことを3つ書き出してください。

1. まずはミクロレベルの支援が大切(基盤となる)
。それからメゾンレベルに繋がり、マクロレベルの提案となっていく。
2. 病院の表示から「福祉」の文字が消えてきている！（例）医療福祉相談室から連携室へ変更等。
3. 患者様やご家族様は、入院中なかなか文句を言わないので、退院前に話しかけてフィードバック（評価）を受けて学ぶ事が大切。

- ・MSWの歴史 ・加算の意味 ・社会福祉士の存在意義
 - ・私たちの役割 ・国の制度 ・仲間を作っていくことの大切さ
 - ・個人支援 ・医療ソーシャルワーカーの歴史 ・医療ソーシャルワーカーの役割
- ・医療ソーシャルワーカーの歴史について学び、これから歴史について興味持つことができた。
・診療報酬から読み取る社会福祉士の重要性を知り、社会福祉士としての立ち位置を再認識する機会になった。
・社会福祉士のこれから在り方を学び、意識することができた。

- ミクロ・メゾ・マクロのミクロの重要さ
- 医療ソーシャルワーカーの歴史
- 医療ではなく、『福祉職』として捉えていく

- 1. 医療ソーシャルワーカーの歴史
- 2. 今後の政策と医療ソーシャルワーク実践の課題
- 3. 医療環境の変遷とソーシャルワーカーの戦略

- ・MSWの歴史 ・医療機関の経営(DPC内)について ・ソーシャルワーク(ミクロを大切に)

- ・戦後の社会背景 ・MSWの役割の変化 ・医療政策からMSWに求められている役割

- ・医療社会事業部が今でも使用されていること
- ・沖縄でも、無料定額診療所がある
- ・病院にMSWがいる意味

- ・患者さんは病院ではじめて制度に出会うということ
- ・歴史からMSWの意義を考えること
- ・先取りした実績作りができる

- ・ミクロ、メゾ、マクロと広く福祉を行うことも大切だけど、初任者はミクロ、個別の実践を行うことが大事である。
- ・ソーシャルワークの歴史を知ることで、ソーシャルワーカーの価値倫理などと結びつけながら、基礎となる基盤を築くことができる。
- ・mswが医療職ではないのに福祉職として病院に必要だと思われている理由。クライエントの社会的背景や環境、何に困っているのかを知り、改善策を提示することでその人らしい生活を送るための手助けを行うため。

- ・私たちは、医療保健制度を提供している。
- ・まずは、個別の支援が大切(ミクロ)。
- ・政策を実践することの、自分なりの意義をみつける。

- ・MSWは国の制度が大きく変わる中でも臨機応変に対応し、ソーシャルワーカーとしての立場で援助を行うこと
- ・専門職だからこそ、権利擁護の役割を果たすことができ、一步間違えると権利侵害にもなってしまうことがある
- ・必要な情報や必要になるであろう情報を提供し、常に患者や家族がその人らしく生きられる環境調整が必要

- ・ソーシャルワーカーの変遷 ・ミクロメゾマクロの視点 ・社会福祉の専門的役割

- ・ミクロの援助実践が大切なこと ・個別の関わりを大切にすること ・医療職ではなく福祉職として存在すること

- ①ミクロ、メゾ、マクロの視点。まずはミクロを大事に支援する
- ②沖縄県のすがた
- ③全世代、全対象の相談の担い手であることから医療、介護以外の社会的問題にも対応できる知識をもつ

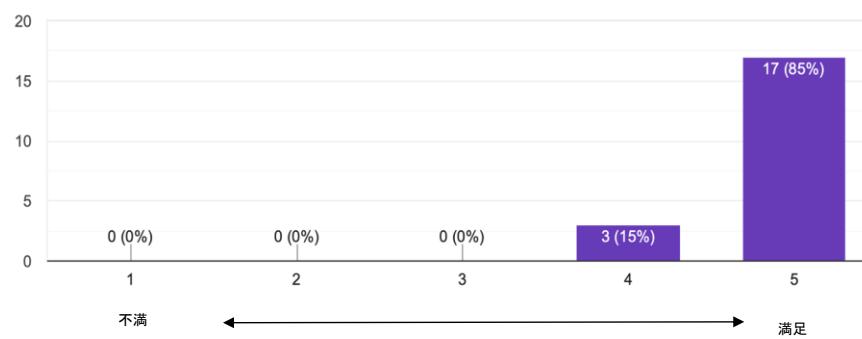
- ・医療政策の対象が、昔は障がい者や生活保護の人など特別な人で、その限られた人にしか相談業務をしていなかった
- ・病院は、いろいろな制度と出会う場所、今後のことを考える最初の場所になる
- ・診療報酬による誘導によってmswが配置された

- ・MSWという職種が認められるまでに長い歴史があり、今も自分らMSWとして名乗り発信していく必要性がある。
- ・発信していくためにも、自分自身がMSWの役割や存在意義を理解し、伝えられるようにする。
- ・患者、家族から評価を貰い課題やよかつた点を見直す。いい事例は部署内でも共有する。

- ①医療機関に福祉職がいる意味 ②時代にあった制度、現場の対応 ③地域で医療と福祉を完結する

5. 講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

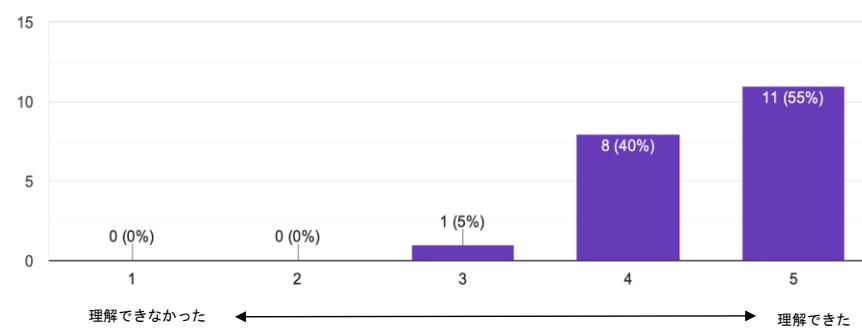
20件の回答



6. 講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。

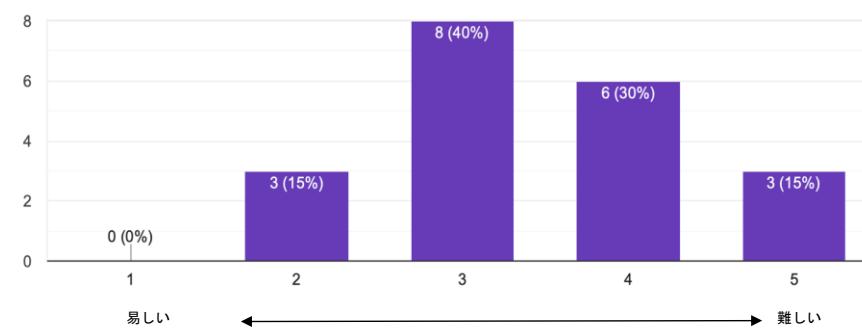
【5段階】

20件の回答



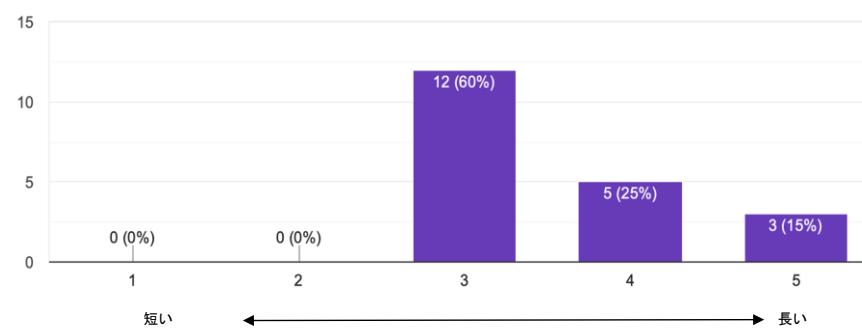
7. 講義内容の難易度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

20件の回答



8. 講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

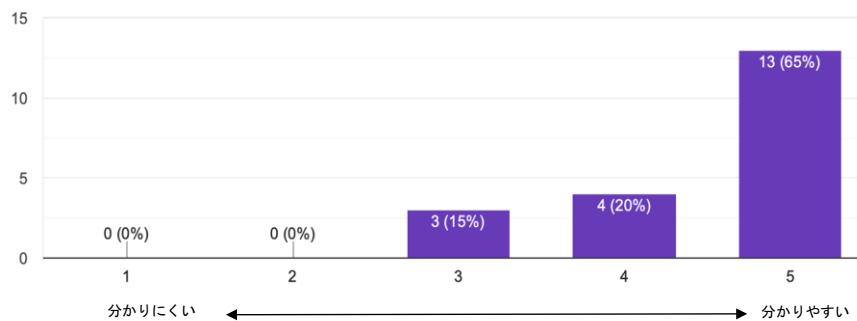
20件の回答



9. 資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。

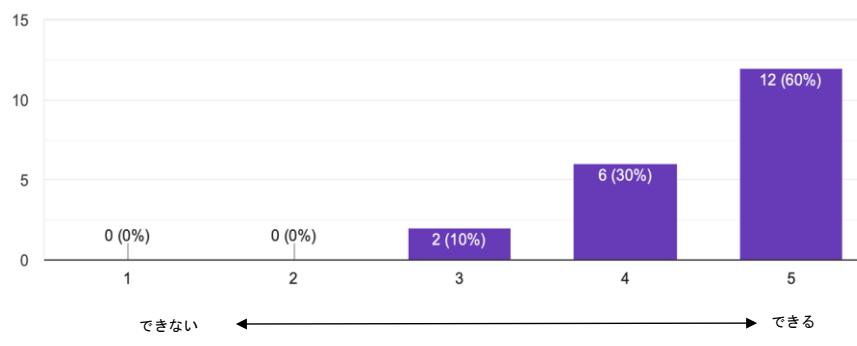
【5段階】

20件の回答



10. 内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。【5段階】

20件の回答



11. 本日の研修について具体的な感想・意見をお聞かせください。

対人援助の視点、知識・技術を学ぶ大切さを再認識できた。7月1日から入職したので、職場での実践力を身につけていきたい。

とても理解しやすく、もやもやしていたものが理解できました。

自分の感覚との違いや、他の業種にはない特長をしっかりとらえ、現場に活かせるような内容でした。

今回の講義では改めて、MSWの役割が大切で、本人だけでなく、家族背景などいろんな角度からみないといけないと感じました。

自身も曖昧だった医療ソーシャルワーカーの歴史を再確認でき、診療報酬から社会福祉士の重要性を認識できることは自身にとって重要な学びだった。

MSWとしての役割やその重要さ等、少なからず知ることができた。

講義後半の内容や樋口先生の経験談が今後の業務に役立つと思いました。

紹介して下さった参考文献等も是非読んでみたいと思います。

国勢調査はソーシャルワーカーと書きたいと思います。

時代背景からMSWに求められている役割も変化していることを学び、変化していく時代に備えて知識や経験をつけていきたいと感じた。

社会福祉士に合格して2年目ですが忘れてた事もあり、復習できて良かったです。

診療報酬の制度に従って動いていることを再確認しました。社会の変化とともに制度は変わり、都度私たちは適応している。今わたしたちがなぜこの役割があるのかを考えたうえで、これから先のことを考えて、ニーズを見つけ働きかけたいです。

国や地方自治体の制度や政策の中に、MSWの存在が組み込まれていて、その中で私達は働いている。

そして病院の指針もある。その中で自分ができることや意義を見出す事が大切。

そういう観点で働く事を考えた事がなかったので、興味深かった。

政策や制度、会社の指針を、再確認することは大切だと感じたので、復習しっかりして、自分の中に落とし込みたいと思った。

医療のなかにいる福祉職としての存在について、考えたことがなくこれからの自分の医療ソーシャルワーカーの在り方について考えさせられました。

具体例も交えて講義くださり、とても分かりやすい内容でした。

今求められているMSWに近づいていけるよう日々勉強していきたいと思います

沖縄県の姿（離婚率一位等）＝患者や家族の姿と捉えると、患者さんの生活背景がすんなり理解できるかもしれないと思った。

今までの歴史や制度から現場に実践されてることが分かりました

12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

MSWの職務におけるジレンマの事例と対応策について、学びたいです。

診療報酬改定の予測

退院支援のあり方

障害福祉サービスについて

- ・沖縄県の課題や他県とは異なる特徴
- ・離島や本島の過疎地域等医療資源が限られる地域に住む患者さんに対する支援の考え方

社会資源の部分（施設、訪問系等）

初任者研修 アンケート

研修科目：初任者研修 「医療ソーシャルワーカーの価値・倫理」

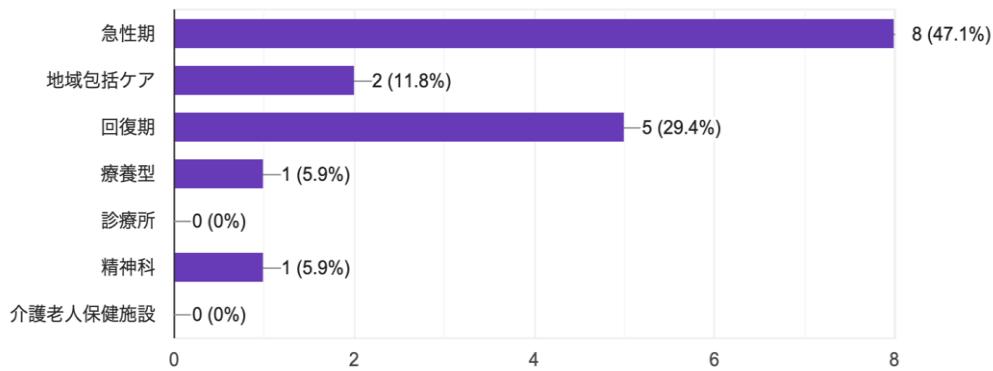
講師名：宮良あさの 氏

研修日：2025年7月13日（日）

受講者数： 24名 アンケート回答者 17名

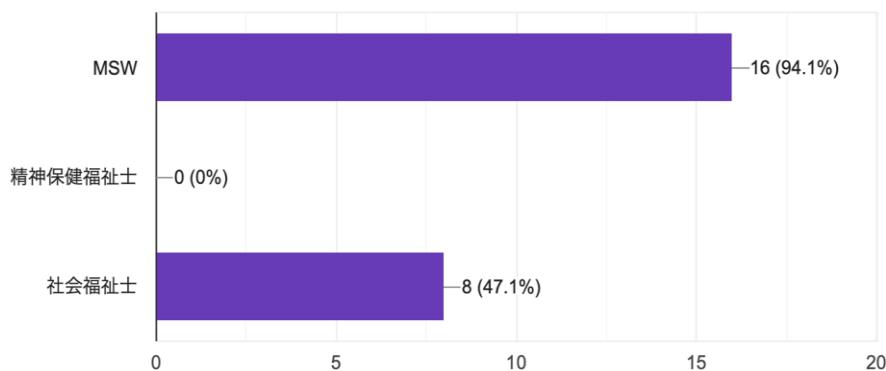
1. 所属機関は？

17件の回答



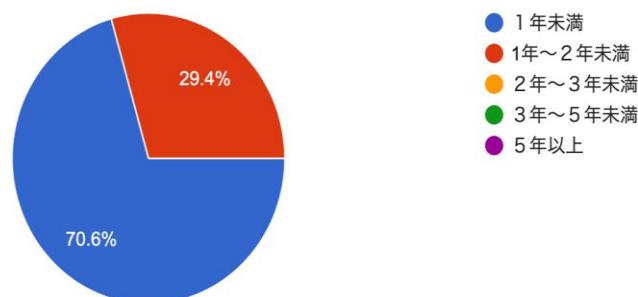
2. 職種は？

17件の回答



3. 経験年数は？

17件の回答



4. 本講義で学んだことを3つ書き出してください。

- ・コミュニケーション ・価値と倫理 ・安心、信頼できるワーカー

・SWの価値
・SWの倫理
・事例を通して根拠のある面談（質問）のすすめ方が、個々のニーズに沿った支援につながるということ。

- ・クライエントの気持ちを1番大切にすること
- ・倫理綱領の優先順位
- ・話したいと思えるワーカーになるために

- ・コミュニケーション ・クライエントの立場になって考えること ・価値と倫理

・ソーシャルワークの倫理=道徳的な指針。
・ソーシャルワーカーはできる支援、できない支援、どのように支援できるのかをあらかじめ明確にする。
・お客様（クライアント）は常に正しい。

- ・言葉を発せないとコミュニケーションに時間がかかる
- ・ソーシャルワークの倫理綱領は道路のセンターラインのイメージ
- ・倫理的指針選抜順位

・ソーシャルワーカーにとって必要な技術。コミュニケーションの方法や、面接をする上での効果的な技術の使い方。
・クライエントの立場になり、何に困っているか、どんな人にどのような対応をしてもらいたいかを考えるようにする。
・ソーシャルワークの基盤となる、倫理や価値、業務指針を理解することでソーシャルワーカーとして自分の支援に自信を持つことができる

- ・ソーシャルワーカーとしての価値と倫理の理解
- ・相談者の理解の重要性
- ・価値と倫理を学び、それを活かした支援をすること

1. 決められた料金以外に利用者から物やお金を受け取らない。仮に1万円の商品券を貰った場合は、同額の品を贈り、お気持ちだけ受け取る。

2. ①お客様は常に正しい。②もしお客様が間違っているとしたら、①を再読せよ↑

3. 経験を積むとミニドクターになりがち！そうならない為には、常に研修を受けて、初心に還る。

・倫理基準には優先順位があり、優先順位に基づき行動する。
・インスリンの事例で理解度、感じていること、専門職との認識の誤差、本人の意欲を収集して、適切なアセスメントをすること
・ワーカーの支援がクライエントの権利を侵害していないかということ

・一つ一つの価値、倫理を振り返り支援の中で立ち止まることが大切。
・あくまでも本人が決められるように選択肢を提示する。言いたくないことは言わなくていいと伝え、本人の言葉で語ってもらうことの大切さ。
・組織、職場における倫理的責任として、上司への報連相をすることで自分も患者、家族も守ることにつながる

①どんな方に相談したいか具体化できた
②安心、自信、自由な選択ができるようメリット、デメリット示しつつ最低3つほど候補をあげる
③自己決定を尊重した支援の大切さ

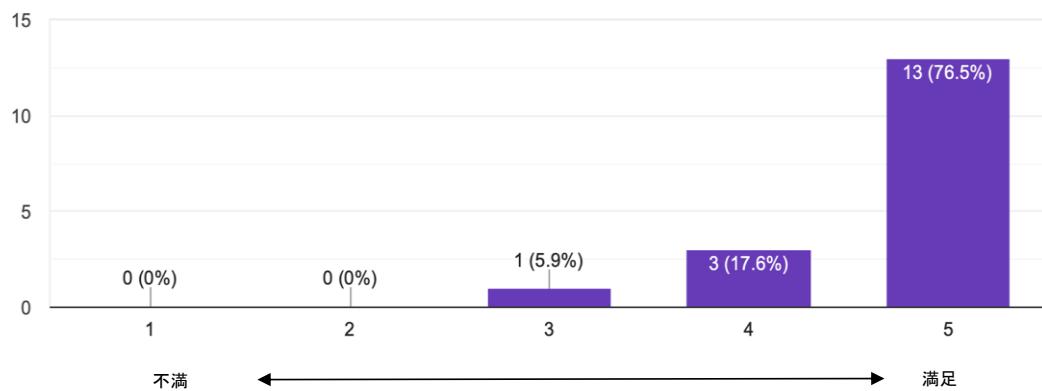
- ・倫理綱領にたちかえること
- ・非言語的コミュニケーションも大切なこと
- ・相手を尊重すること

○ソーシャルワーカーの倫理綱領 ○医療ソーシャルワーカー業務指針 ○ソーシャルワークの価値

- ・倫理を元に業務をする ・価値は自分たち次第 ・非言語コミュニケーションが重要

5. 講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

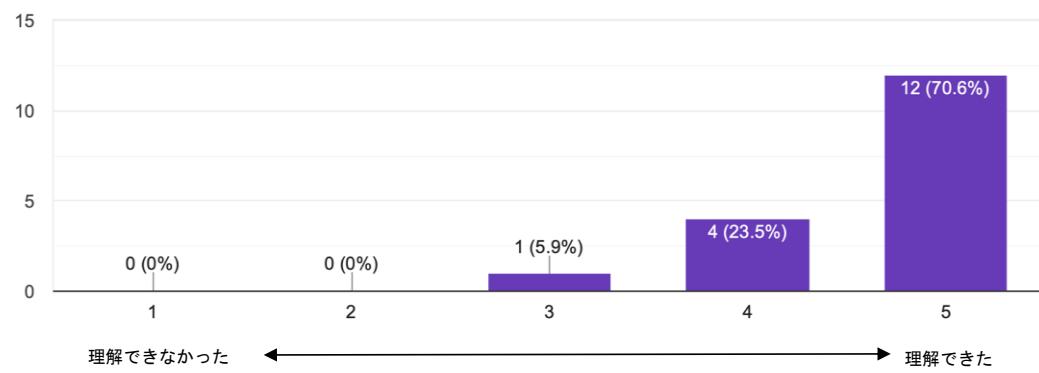
17件の回答



6. 講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。

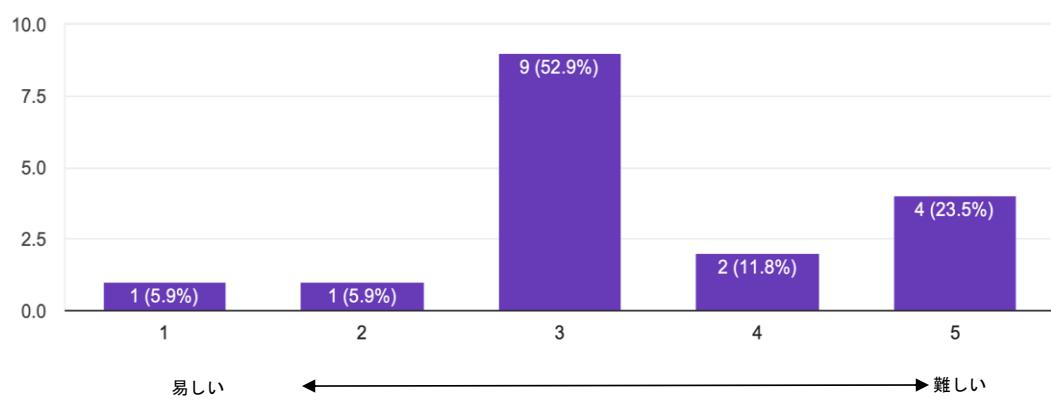
【5段階】

17件の回答



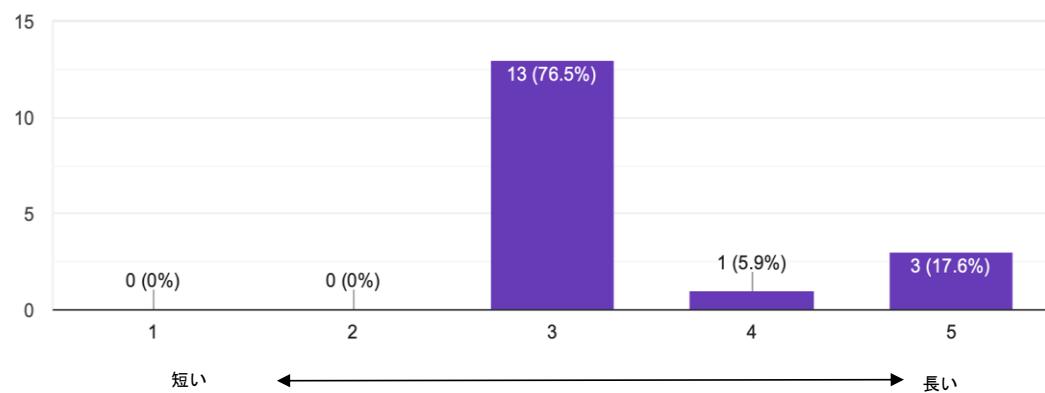
7. 講義内容の難易度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

17件の回答



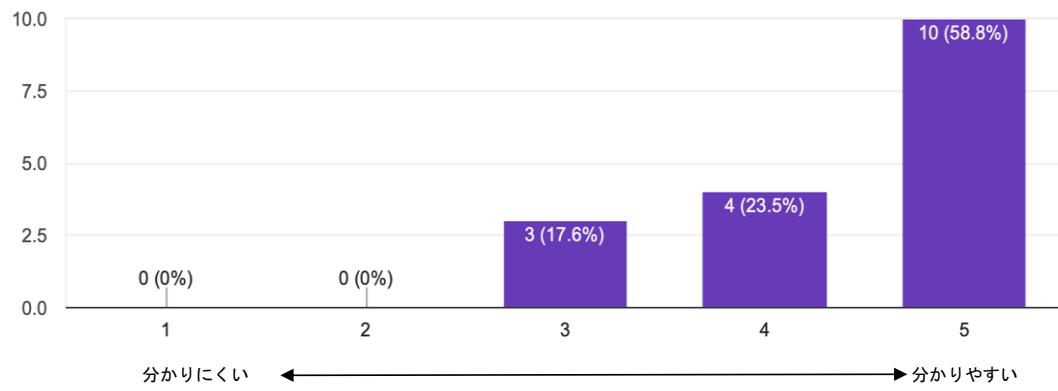
8. 講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

17件の回答



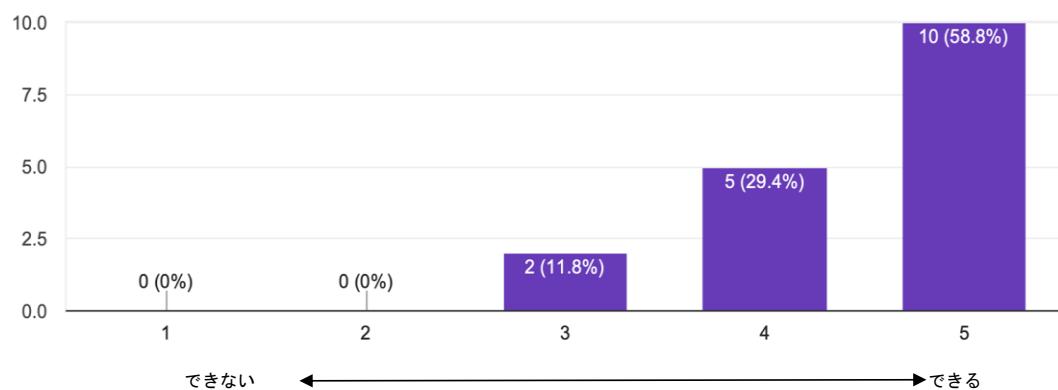
9. 資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

17件の回答



10. 内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。【5段階】

17件の回答



11. 本日の研修について具体的な感想・意見をお聞かせください。

事例などを用いての研修は分かり安かったです。
またミクロ、マゾ、マクロ支援のイメージができました。

普段の業務が倫理基準に沿って行われているということに気づくことができた。
支援で判断に迷う時は、倫理的指針選別順位を意識したいと思った。
経験がない時だからこそ、基盤となる価値や倫理をしっかり学んでいきたい。

相手の立場に立って考えることは、患者や家族に寄り添うことにつながるなど感じました。忙しくても少し考えるだけで話し方や話の書き方が変わりそうだと思いました。
ソーシャルワークを見失いそうになるので、私もソーシャルワークの倫理綱領を持ち歩こうと思います。

ソーシャルワーカーとしての基礎を復習できる内容で良かったが、内容が濃すぎて理解が追いつかなかつた。
じっくり資料を読んで復習したいと思いました。
ワークで学んだ『パーソナルスペース』は今後の実務でも意識したいと思いました。
また、『制度に人を合わせるのではなく、人に制度を合わせる』という言葉がとても響きました。
行政とやり取りする中で心に留めたいと思います。

事例をあげての説明があったのでわかりやすかったです。

ソーシャルワークの価値と倫理について、科学者の例えを交えながら説明があり、とてもわかりやすかったです。ロールプレイングの時間もあり、再度、クライエント側の気持ちを考えるいい機会だった。

「倫理的指針にも優先順位がある。」
生命の保護が最上位であるのは、理解してますが、2番目から7番目は、もっと深く考えて体得し、実践出来るようになりたい。

今まで倫理綱領は何度か読んだことがあります。言葉の羅列出しかくなく、体に浸透することはありました。今回、講義を受け倫理綱領の言葉が現場の経験とつながり、以前よりも倫理綱領が重要であることを感じられるようになりました。タイミング、講義の内容など様々な要因があると思いますが、日々の業務で振り返る姿勢を持ち反復したいと思います。

価値、倫理について常に頭に置きながら業務にあたっていこうと思います。
ご本人が自信を持って自己決定できる環境を整えていけるよう、自分自身の知識、経験をつけていきたいと思います。

一つのやり方にとらわれすぎず、素直な心をもって色々な情報をあつめながら支援にあたりたいと思いました。

実際に現場で働いている側として、現に価値観や倫理等分かってない部分があるため、経験を積みながらより理解していきたい。

社会福祉士の勉強をしているときの内容に近かったので改めて学べてよかったです。

12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

退院調整に係る加算について

MSWが現場で直面するジレンマと事例とその対処法を学びたい。

初任者研修 アンケート

研修科目：初任者研修 「アセスメント」

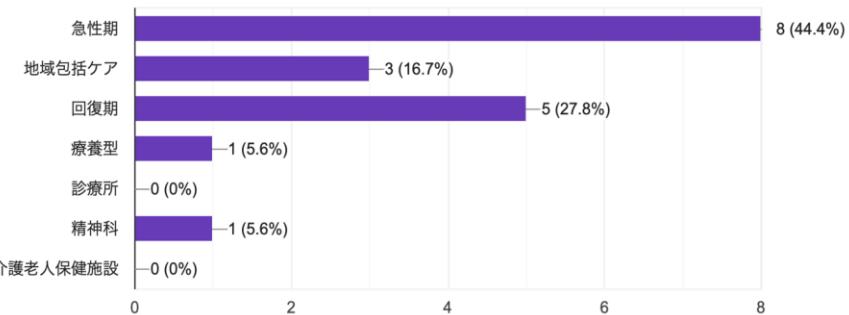
講師名：島袋恭子 氏

研修日：2025年7月13日（日）

受講者数： 24名 アンケート回答者 18名

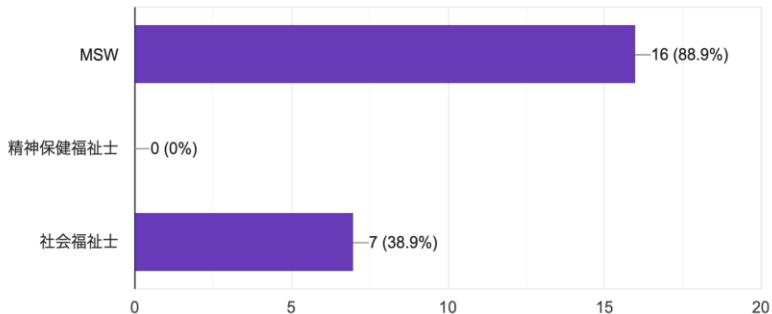
1. 所属機関はですか。該当するものにチェックをしてください。

18件の回答



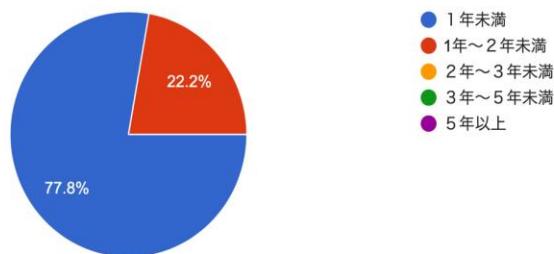
2. 職種はですか。該当するものにチェックをしてください。

18件の回答



3. 経験年数は何年ですか。あてはまるものを選んでください。

18件の回答



4. 本講義で学んだことを3つ書き出してください。

- 1.MSWとして、クライアントのストレンジスを見つける事を自分の強み(得意技?!)にする。
2.ワークを行っている際、ストレンジスを見つける受講生達の幅広い視点に驚嘆しました! 視点を変え、固定観念を捨て、全体を俯瞰して大局的な見方を身につけたいです。
3.相談やカンファレンス等の際、クライアントの良い点を話すことによって、温かい雰囲気を醸成し、応援していく環境を整える。

- ・エンパワメント　・相手を尊重すること　・気持ち想像すること
・クライエントの立場に立って考えること　・ストレンジス視点　・アセスメントの重要性

- ・ストレンジス視点の重要性
・倫理や価値を理解し、土台にあることで知識や技術など、専門職としての役割が成り立つ
・エンパワメントの重要性

・他の専門職の「アセスメント」と、ソーシャルワーカーが行う「アセスメント」の違い。他職種は医療的な面からアセスメントすることに対して、MSWはその人が抱える悩みや不安に対してアセスメントを行う。

・ソーシャルワークの価値、倫理をただしく理解してアセスメントを行うことでソーシャルワークの実践を行うことができる。まずは価値倫理を理解することが大事。
・患者やその家族がドクターの説明を理解できているか、クライアントとソーシャルワーカーは対等な関係を築けているか、表には出していないけれどもっと他に困り事はないかななど、ソーシャルワーカーはクライアントと関わる中で常に気を配ってクライアントのことをアセスメントする。

- ・アセスメントについて　・クライアントの立場　・ストレンジスの見つけ方

- ・医学モデルから生活モデルに変わった意味
・強みに焦点を当てたアセスメント
・価値倫理に則ったアセスメントの重要性

- ・ソーシャルワーカーの価値と知識について　・エンパワメント　・ストレンジス

1.アセスメントについて　2.エンパワメントについて　3.ソーシャルワークの価値と倫理

○アセスメント　○ソーシャルワーク基本概念図　○エンパワメント

- ・ストレンジス　・感受性を磨くこと　・ソーシャルワーカーの専門性と視点
・適切な態度の重要性
・自分たちの視点ではなくソーシャルワーカーの倫理が大切
・ストレンジスを引き出す
・どの場面でもストレンジスを見つけられる
・ストレンジスが見られるとその人に力があることを感じられる
・倫理的価値を土台とする

- ①ご本人に力をつけさせるのではなく、ご本人の持つてある力に気づくこと
②どのようなソーシャルワーカーに出会いたいか具体化できた
③ストレンジスの視点で可能性が広がってくること

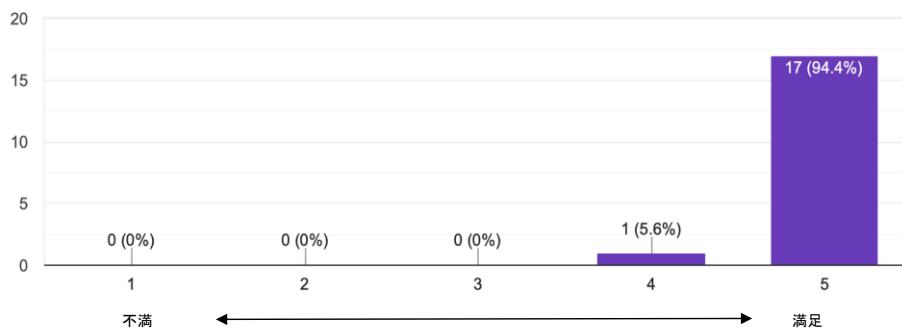
・自分がどのような価値観を持っているのかに気付き、自分と他者の価値観の違いに気づく事、専門職としての価値を優先することが必要。
・クライエントの変化の可能性を感じ、ストレンジスを見つけエンパワメントアプローチをしていくことの大切さ。
・ソーシャルワークの価値、倫理はソーシャルワーカーを支えてくれる、守ってくれる、自分自身の専門性を再確認できるもの。

- ・どんな人でもストレンジスがある
・1人で考えるよりみんなで考えたほうがストレンジスはたくさんみつかる
・ソーシャルワークの根本は価値

クライエントのエンパワメントの引き出し方を学ぶことができました。

5. 講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

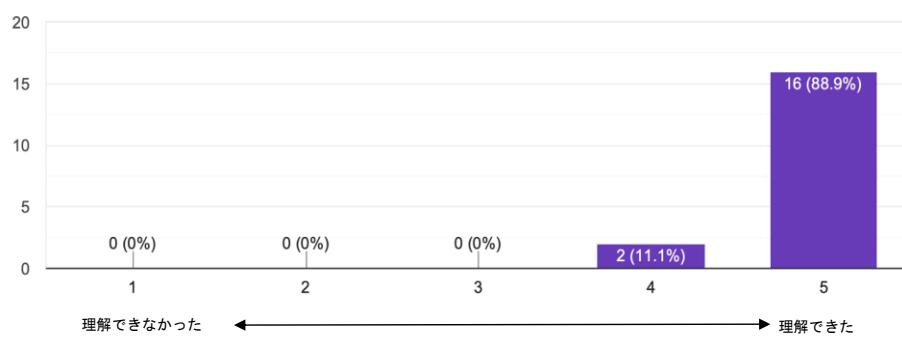
18件の回答



6. 講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。

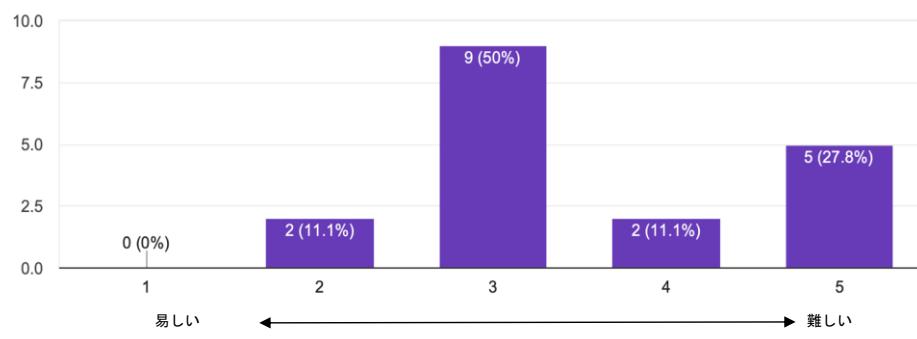
【5段階】

18件の回答



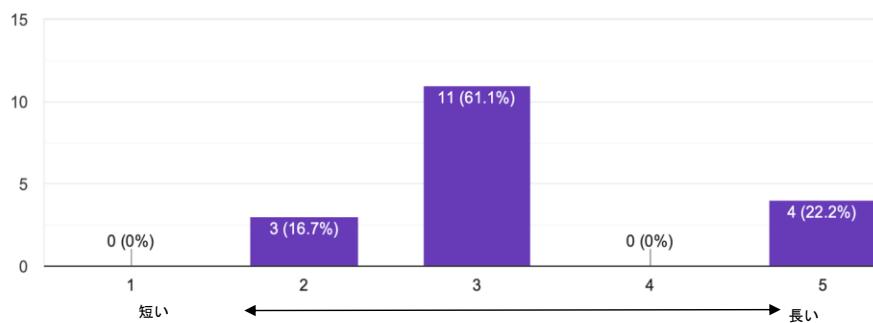
7. 講義内容の難易度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

18件の回答



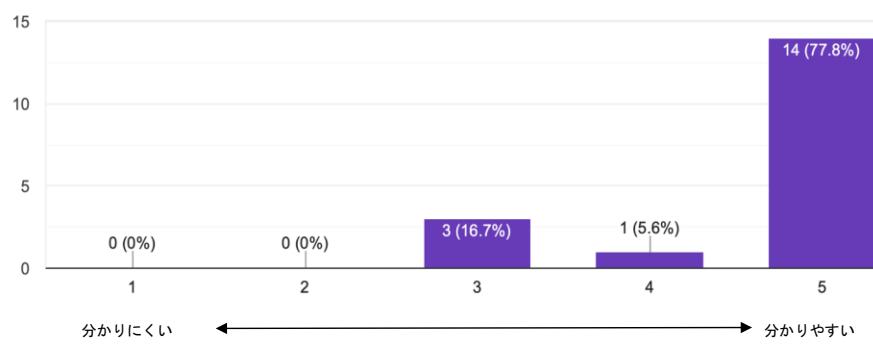
8. 講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

18件の回答



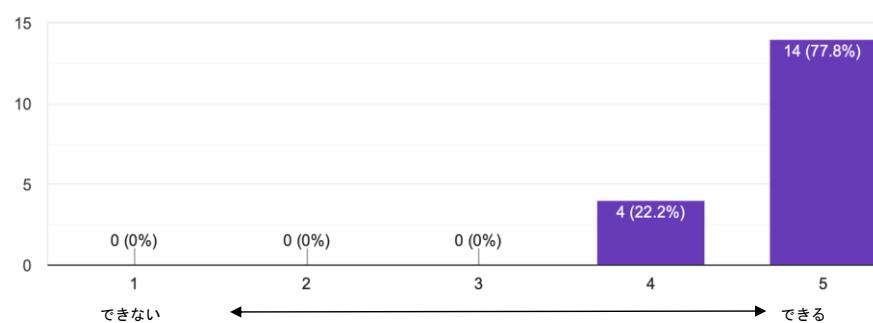
9. 資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

18件の回答



10. 内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。【5段階】

18件の回答



11. 本日の研修について具体的な感想・意見をお聞かせください。

本日から研修が始まったので、ワークを2つ入れていただいたおかげで、他の受講生の方々と話しやすくなったり。

多職種で話す際に、課題だけでなくエンパワメントもだしあっていきたいと思いました。

共同カンファレンスなどでも、課題面だけではなく、ストレングスの評価も共有していきたいと思ったストレングス視点をより意識するようになった。

そして、社会福祉士からみえるストレングスと他職種から見えるストレングスが違い、多職種連携の重要性も再認識できた。

実際のグループワークができて良かった。自分とは違う視点も学ぶことができた。

ワークが講義の内容の理解を助けてくれ、アセスメントの視点、エンパワメントについて理解が深まりました。繰り返し資料を読み返し、ワークの内容を思い返したい内容でした。

直ぐに実務に活かせる内容でとてもためになりました。

ワーカー1人1人の考え方方が違う事を知れた。それにより、エンパワメントの視点も色々あって非常に学べた。グループワークも実際にやって、患者様の気持ちを考えさせられたことによってソーシャルワーカーとしてどう対応していくか課題も生まれた。

ストレングスを見つけるのは逆の発想だったり、意外と考え方によるものなのかなと思いました。

医学モデルとストレングス視点からアセスメントを行い、クライエントの理解の仕方、アセスメントが異なることを体感できました。

価値は言葉ではよくきいていましたが、今まではどういうことなのかわかりませんでした。今日少しちゃかったような気がします。

わたしもクライエントの変化の可能性を感じたいです！

考えを共有することで新たな発見があり、一人で考えるよりも多くの事を感じる事ができました。
職場でも実践していきたいと思います。

普段は入院患者の1人として見てしまっていたけど、一人一人の人生があってストレングスもそれぞれ違うなと思いました。

限られた時間の中でも相手の立場になって考えることで、自分がされたい・されたくないことを明らかにでき、向き合い方が変わるなと思いました。

グループワークで他病院の相談員と繋がることが出来ました。

12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

MSWの現場で起きているジレンマの事例研究について学びたいです。

グリーフケアについて

具体的に先生がどのようにストレングスを見つけたらいいのか教えてほしいです。

初任者研修 アンケート

研修科目：初任者研修 「記録について」

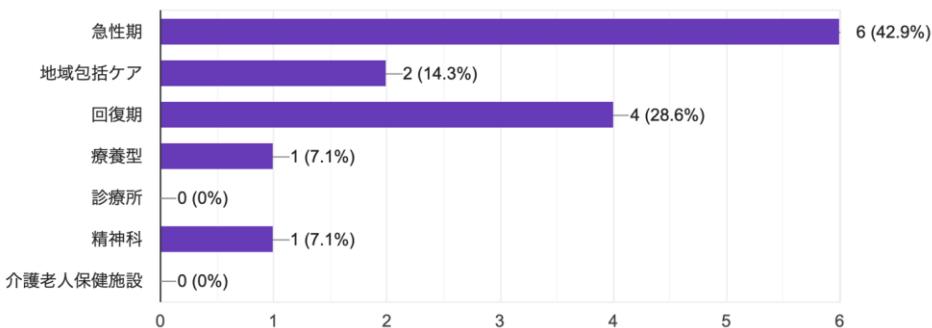
講師名：當銘由香 氏

研修日：2025年7月13日（日）

受講者数： 24名 アンケート回答者 14名

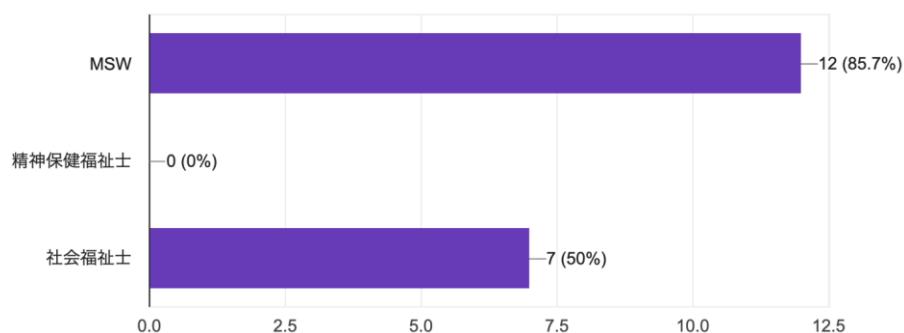
1. 所属機関はですか。該当するものにチェックをしてください。

14件の回答



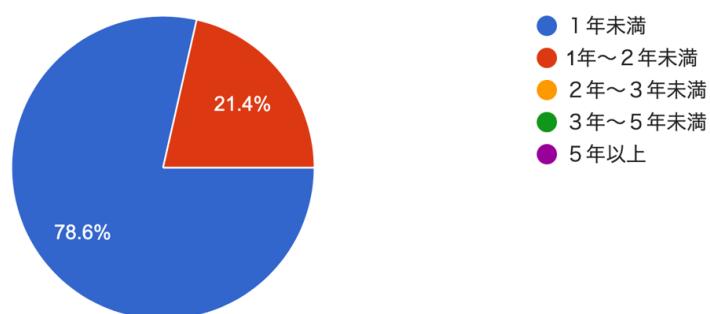
2. 職種は何ですか。該当するものにチェックをしてください。

14件の回答



3. 経験年数は何年ですか。あてはまるものを選んでください。

14件の回答



4. 本講義で学んだことを3つ書き出してください。

- ①記録はクライエントにも見られることを意識する
- ②記録が根拠となる。なるべく早く記録する
- ③項目形式の記録は分かりやすい

・記録が書けないのは、アセスメントの部分が考えられないからであり、頭の中で様々な情報を整理する必要がある。
・ジェノグラムやエコマップを用いて、情報を可視化すると関係性がわかりやすい。
・患者さんの個人情報は守り、マイナスな面もプラスに書けるようにストレングス視点を持ってかく！

・正しく記録を行うことは、他職種と情報共有することだけでなく、自分の業務の振り返りや自分を守ることにもつながる。
・エコマップやジェノグラムを利用することで、クライエントとその周りの環境を簡潔に示すことができ、関係性なども整理しやすくなる。
・クライエントに関わること全てを記録するのではなく、必要な情報だけを残すようにする。また、本人や第三者に不利益になるような情報は書かないようとする。

・記録は自分だけでなく多職種にも共有できるもの　・生活支援記録　・エコマップ

・記録は価値を持ってアセスメントをした内容を表現し、分かりやすく伝えるものであること
・記述形式と項目形式と混同していたこと
・文字も図形も記録であり、MSWが必要な情報を取捨選択すること

・本人を理解するための面談内容が大事であること
・アセスメントが記録に繋がるということ
・記録の重要性

・エコマップの活用　・記録の留意点　・MSWとして記録するために求められている能力

・エコマップの書き方　・情報から強みを抽出して支援につなげる　・個人情報の保護

・記録は、カルテ開示が求められた時に説明責任を果たすための根拠になる。
・記録が書けない時は、アセスメントまで到達出来ていない。アセスメントを組み立てる必要がある。
・必要な情報のみ記入する。何でもかんでも記録しない。

○記録の目的と役割 ○倫理的責任と法的義務 ○ソーシャルワーク記録の種類

1. 記録は、クライエントや多職種、第三者が見ることを前提として、より分かりやすく伝わる内容を意識して、記載する。
2. 記録できないのは、情報が整理できていないから。
3. 6 W 3 H.

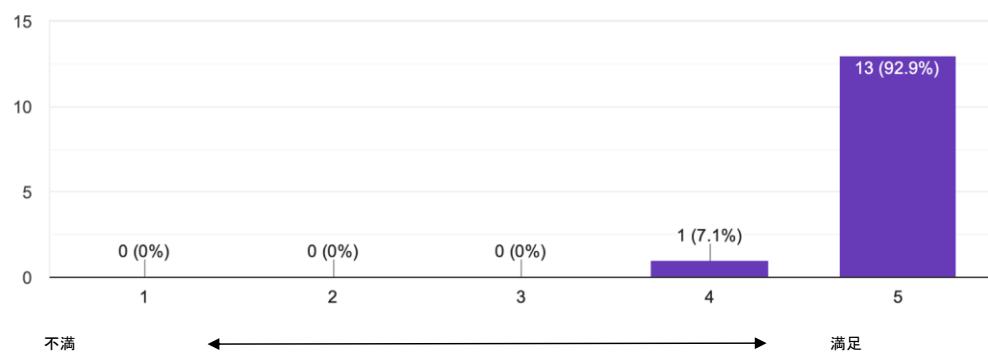
・独断での記録ではなく方法に基づいた書き方
・エコマップの活用方法
・内容をしっかり捉えて記録を残す

1.記録の目的と役割 2.記録の項目形式 3.エコマップの作成とストレングスの視点

・エコマップの書き方　・SOAP以外の記述方法　・法的責任

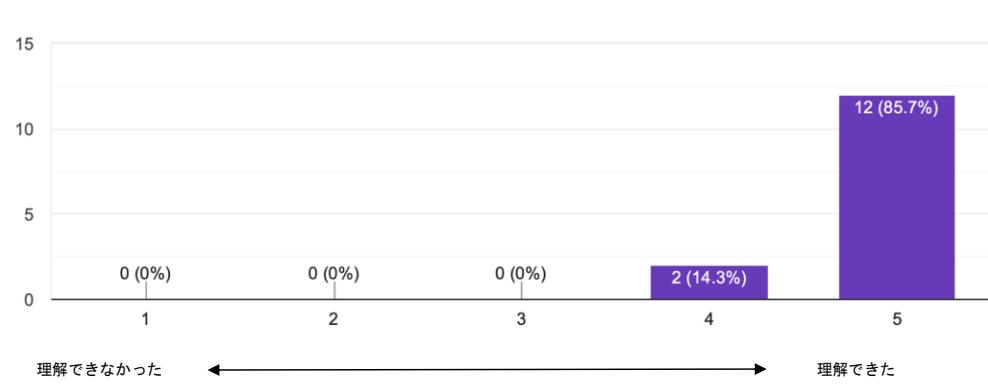
5. 講義全体の満足度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

14件の回答



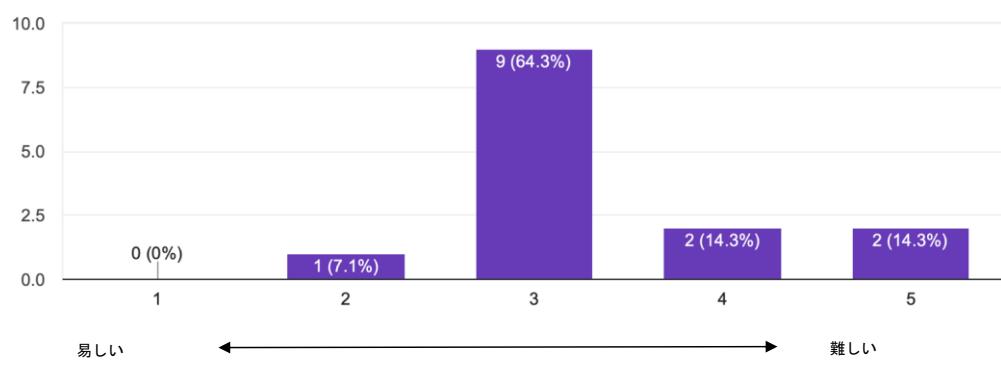
6. 講義内容について理解の程度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

14件の回答



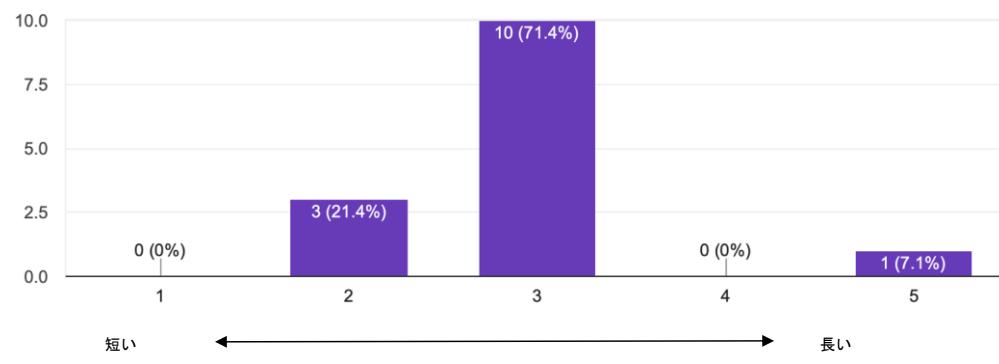
7. 講義内容の難易度はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

14件の回答



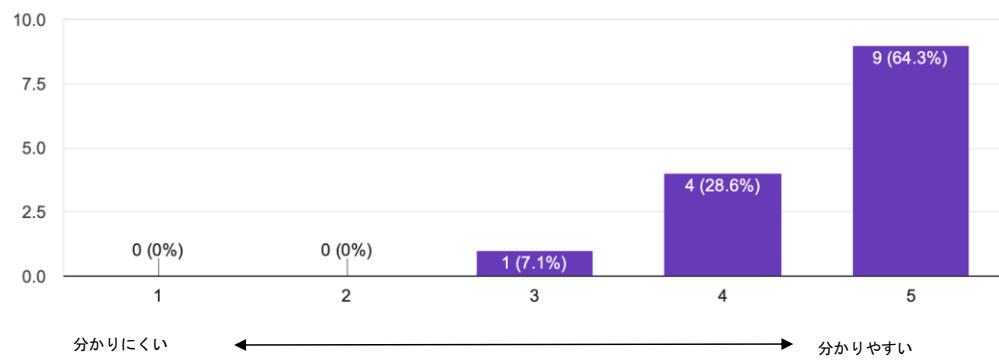
8. 講義の時間配分はいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

14件の回答



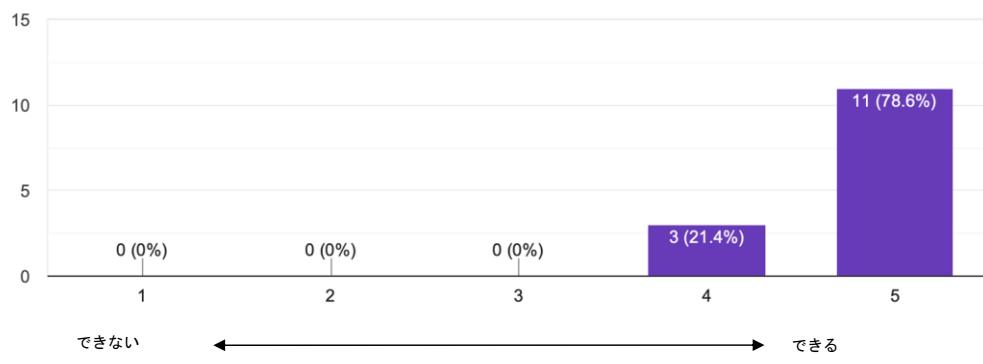
9. 資料の分かりやすさはいかがでしたか。該当する番号にチェックをしてください。【5段階】

14件の回答



10. 内容は実践に応用できますか。該当する番号にチェックをつけてください。【5段階】

14件の回答



11. 本日の研修について具体的な感想・意見をお聞かせください。

エコマップで確認しながら面談すると、共通理解がしやすく、客観的な広い視点で見ることができると思いました。記録の項目形式を実践したいと思いました。

エコマップを初めて書いてみて、慣れないものに苦戦しましたが、一目でみて分かるので、慣れてしまえば便利なものだと感じました。実際に業務に取り入れていきたいと思います。

同期と一緒にワークをするのが楽しかったです。周りの人たちも業務の中で同じような課題を持っていることがわかり、少し楽になりました。全体で質を上げられるようにしたいと思いました。

記録が書けないと悩んでいましたが、アセスメントが弱く、情報が整理できていない状況だったことが分かったので、今後アセスメント→記録に繋げられるように実践していきたいと思った。

記録の仕方について迷う事が多かったので、とても参考になった。

記録の書き方があまりピンときていなかったので、今日お話を聞いてよかったです。soapやF-soaipを意識して記録してみようと思います。そのためにもアセスメントができるように頑張ろうと思います。

エコマップの書き方など、実践的で仲間達と一緒に考えながら行うグループワークは非常に刺激を受けて楽しめた。グループワークはこれからも行っていきたい。

これまで医療や福祉とは全く関連のない仕事をしてきており、今7月1日に入職したばかりなので、まだ電子カルテを記録した事はありません。本講義で記録の形式・詳細について(福祉の専門学校で学んだことの)復習ができます。これから業務に活かしていきたいです。

エコマップを作成にあたって、その人のストレングスを見つけるのにはある程度の情報が必要。そのため情報収集の大切さがわかりました。

実務の中でジェノグラムを書くことはあってもエコマップを書くことは全く無かったので、ストレングスを見つけるツールとして積極的に描いてみようと思いました。また、記録を残す重要性、責任、ポイントについて学ぶ事ができ、とても参考になりました。

エコマップを書いたことがなかったので、勉強になりました。初回面接の記録が重要であることは、架空事例を通して感じました。

記録の書き方の基礎について学べました。

12. 今後の研修でとりあげてほしいテーマや希望する講師等についてお聞かせください。

今度は、事例をもとに文字で記録したものを共有したいです。

場面ごとに適切な記録の仕方があれば教えていただきたい。

MSWが現場で直面するジレンマについて、事例と対応方法・考え方を学びたいです。

クレーム対応について